

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 23

2017/11/24/Fri

チームひがし…生徒・教職員・家庭へ向けての校長通信

期末テストまであと5日

オペラ記念日 東京天文台設置記念日

ダーウィン「種の起源」初版 1859年

元老・西園寺公望、92歳で没 1940年

B29、東京を初空襲 1944年

11/29(水)～12/1(金)=期末テスト…いま大切にすることは

「やるべきこと」をやれ、自分でできる努力を！ 努力次第で本物の学力は必ずついてくる！

「生徒のやる気」 ～学習調査から～

- 1 目標があるとき、やる気が出る
- 2 好奇心があるとき、やる気が出る
- 3 やったあとという成功感、成就感があったとき、やる気が出る
- 4 やればできるという自信があるとき、やる気が出る
- 5 認められたとき、励まされたとき、褒められたとき、やる気が出る

来週から始まる期末テストが5日後に迫ってきました。学習計画表はできたでしょうか？計画どおりに、準備は進んでいますか？

6月に「エビングハウスの忘却曲線」を基に、記憶力と復習の関係について説明しました。覚えていますか？しかし、復習の大切さは分かっていても、その復習をしようとする「やる気」がなくては進みません。「やる気」を出すにはどうしたらよいで

しょうか？中学生のある学習調査によると、どんな時に生徒はやる気が出るのかについて、5つにまとめていました。ぜひ、参考にして次の学習に取り組みましょう。

学んだことを反復練習(ドリル)する …

これは自分で取り組むことができる努力の一つで、その気になれば誰にでもできるはずです。「やる気」があれば学力はついてきます。学んだ大事なことがらについては暗記したり繰り返し練習したりすることが必要です。いわゆる「つめこみ教育」とは違います。「なぜなのか？」「どうして？」の意味や原理がわかっても、それを忘れてしまったら値打ちが失われてしまうからです。だからこそ学んだことを反復練習して



真剣にテストを受けている3年生↑

覚え、そしてその値打ちを生かすことが「本物の学力」につながるのです。さらに…

テスト5日前の今の学習法は？ …

問題演習中心の勉強を始めなければならない時期です。とにかくテスト範囲の問題をどんどん解いていくこと。問題をたくさん解くと、まず問題形式や出題パターンに慣れてきます。また、分からない問題(=自己採点して×だった問題)もたくさん出てきます。それが大事なのです。分からない問題こそ、君が今すぐ勉強し直さなければならないものなのです。それでも分からない問題は…

①調べる ②質問するー

…この2つの方法で分からない問題をしっかり納得するまで理解していくことが大切なのです。それが勉強というもの。先生方は、君たちが質問に来るのを待っています。あとは…君たちの「やる気」に期待するしかありません。

本校生徒が元気いっぱいに参加活躍！

芳賀郡市小中学校合同スポーツ大会終わる！



入場行進↑

芳賀郡市小中学校合同スポーツ大会が、11/21(火)に真岡市総合体育館で開かれました。

本校生徒は、元気いっぱいの姿で競技していました。小中学生と一緒に競技する種目「力を合わせて」では、本校生徒がリーダーシップを発揮していました。各種目での頑張りはもちろん、係活動においても大活躍の日でした。

また、多くの保護者の皆様が応援に駆けつけてくださり、親子玉入れにも参加していただくなど、競技や

運営等に協力していただきました。あらた

めて、保護者の皆様に感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。



←男子リレー ↑女子リレー



↑④綱引き ⑤親子玉入れ

寒い日が続いても…「小春日和」と生活の知恵

小春日和 …小春とは旧暦10月(現在の11月～12月初)のことです。この頃の穏やかで暖かい日を「小春日和」と言います。この小春日和は冬型の気圧配置が緩んで移動性高気圧に覆われる時によく現れます。世界各国にも同じような天気があります。例えば、アメリカではインディアンたちが冬支度をしたり南へ移動したりするため「インディアンサマー」と呼ばれており、また、ドイツでは「老婦人の夏」と呼ばれているそうです。

暦の上では冬…「11月」の響きはまだ秋を感じさせるものがありますが、気温は少しずつ冬に近づいているのは確かです。気温の変化も大きく、そのせいか体調を崩している生徒も増えてきました。日中は比較的ポカポカした「小春日和」であっても、朝夕はグッと気温が下がります。油断していると風邪の原因にもなります。今まで以上に体調管理に注意を払いましょう。

さて、カラッと晴れた日は、柿や芋などの「天日干し」日和になります。食べ物

を乾いた空気にさらして乾燥させると甘味成分が増してくるのです。干し柿や干し芋の表面の白い粉は、実は糖分なのです。また、水分が取り除かれるため保存性も増し、さらに栄養価も高まるのです。「天日干し」というのは、昔の人が冬に備えて考えた保存食なのですね。あらためて、昔の人たちのアイディア、生活の知恵には驚きます。

晴れた日は、洗濯や布団はもちろんのこと、柿や芋も干してみてもいいかなですか？